



SBI大学院大学

2026年度 春学期 後期

MBA 単科コース

— 募集要項 —

SBI大学院大学 概要

大学名称	: SBI大学院大学
学長	: 蟹瀬 誠一
研究科・専攻	: 経営管理研究科 アントレプレナー専攻
大学の形態	: 専門職大学院（通信教育）
修了後の学位	: 経営管理修士（専門職）
入学定員	: 本科生 年間120名（春期・秋期の各60名募集）
最低修業年限	: 2年
修了要件	: 34単位以上の単位取得
設置者	: 学校法人SBI大学

住所	: 〒106-6021 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階
電話	: 03-6229-1175
FAX	: 03-6685-6100
E-mail	: admin@sbi-u.ac.jp

MBA単科コースとは

MBA本科コースの科目を1科目から選んで学べるコースです。スキルアップはもちろん、MBAの授業を実際に体験しながらMBA本科コースへの出願を検討するのにご活用ください。

eラーニングによるインタラクティブな授業展開に加え、ラーニングスタッフ（LS）が受講生のスムーズな学習をサポートいたします。

MBA単科コースの主な特徴

- ・実践的な経営の勉強をしたいが、本大学院で2年間履修する余裕が無いという方に最適です。
- ・「経営力をつけたい」「親の会社を引き継ぎたい」など、厳しい環境下にある経営者のニーズを捉え、ご自身に必要なと思われる科目を選択して履修が可能です。
- ・MBA本科コースと同じ講義を受講でき、教員、学生同士、SBIグループとの交流を通じた、ビジネスシナジーを図ることが可能です。
- ・履修後には単位を取得できます。正科生としてMBA本科コースに入学した場合には、取得済みの単位は、受講済科目として認定し、また受講料の一部が免除されます。
- ・申込人数によっては受講をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

MBA単科コース募集定員／入学資格

■募集定員

若干名（定員は科目ごとに異なります。）

■入学資格

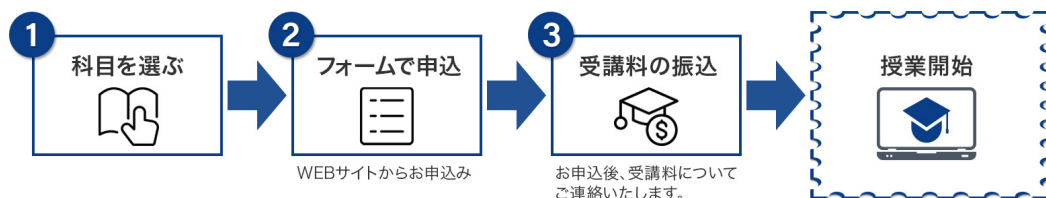
要件Aおよび要件Bをともに満たしている者

要件A (1)・(2) いずれかに該当する者	(1) 4年制大学卒業 1. 大学を卒業した者 (2) (1)と同等の学力があると認められる 2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者 5. 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者 6. 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 7. 指定された専修学校の専門課程又は専攻科（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者 8. 旧制学校等を修了した者 9. 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者 10. 本学において個別の入学資格審査により認めた22歳以上の者 i. 4年制大学を卒業したことの証明書が提出できない方で、日本の大学院を修了している場合 ii. その他（学歴が大学卒業未満の者等）
要件B (1)・(2) いずれかに該当する者	(1) 社会人として就業経験が3年以上ある (2) (1)と同等の経験があると入学審査にて認められる

※ 要件A 1～9／要件B (1) に該当しない方は「入学資格審査票」への記入が必要となります。

※ 講義は日本語で行われるため、日本語を母国語としない場合には日本語能力試験N1程度が目安となります。

■受講までの流れ



(1) 本学Webサイト上の「MBA単科コースのお申込み」ページからお申込みください。申込みフォームで、受講を希望する科目を選択いただきます。（開講科目一覧をご参照ください。）

(2) お申込み完了後、受講までの手続き（学費のお支払いや提出書類）に関するご案内メールをお送りしますので、ご確認のうえ、期限までにお手続きください。

(3) 受講開始の約3週間前に、ご受講に必要な資料を郵送します。また、オリエンテーションサイトのご案内メールをお送りしますので、受講開始までに、学期スケジュールや開講科目一覧、eラーニングシステムの操作方法等をご確認ください。

申込手続き

■日程

	前期・通期科目	後期科目
申込締切	2026年3月10日(火)	2026年5月10日(日)
開講日	2026年4月15日(水)	2026年6月10日(水)

■学費

登録料2万円 + 1単位の科目の授業料：8万円
2単位の科目の授業料：16万円

※登録料については「新規お申込み」の方のみとなります。

■申込方法

本学 Web サイト「MBA単科コースのお申込み」よりお申込みください。

右のQRコードからもアクセスできます。

入学試験はございませんが、入学資格要件（P.3参照）を満たしていない方は、「入学資格審査票」をご提出ください。

▶『SBI大学院大学Webサイト』→『MBA単科コース』→『MBA単科コースのお申込み』
https://www.sbi-u.ac.jp/form/apply_t



■学費の振込

お申込後に学費のご案内メールをお送りいたします。

ご案内メール受信後、以下の指定口座にお振込みください。

お申込みの翌月15日払い。申込締切月にお申込みいただいた場合は当月15日払いとなります。

- ・振込手数料はご負担願います。
- ・海外から送金される際は事前に大学事務局までお問い合わせください。
- ・振込み人名義は必ず出願者名にしてください。
- ・大学事務局管理のため、振込み人名義の前に、「102」と入力してください。
- ・振込票の控えはお手元に保管してください。

※インターネットバンキングでお振込みの場合は、

「振込明細」等の画面印刷またはキャプチャ（スクリーンショット）を保存してください。

銀行名 : 住信SBIネット銀行 (0038)
支店名 : 法人第一支店 (106)
科目 : 普通預金
口座番号 : 1002143
口座名義 : 学校法人SBI大学
フリガナ : ガク) エスビーアイダイガク

領収書の発行※を希望される場合には、事務局 (admission@mba.sbi-u.ac.jp)までご連絡ください。

領収書発行後のご返金・キャンセルはいたしかねますのでご了承ください。

※領収書の発行(PDFまたは郵送) 発行をご希望の場合は発行方法及び該当の情報をご連絡ください。

- ・PDF：宛名
- ・郵送：宛名、郵送先住所

科目一覧

科目区分	授業科目の名称	レベル	単位数	担当教員
戦略・マーケティング	マーケティング（佐々木）※1	コア	2	佐々木一人
	マーケティング（徐）※1	コア	2	徐恩之
	事業戦略構築論（熊沢）－独立起業コース－※2	コア	2	熊沢拓
	事業戦略構築論（松木）－社内起業コース－※2	コア	2	松木知徳
	マーケティング実践（ブランディング）	応用	2	刈谷裕子
	サステナビリティ・マネジメント	応用	1	松原恭司郎
	MBAのためのケーススタディー	発展	1	野間口隆郎
	孫子に学ぶ経営戦略	発展	1	横山成人
組織・人的資源	組織行動学（重田）※3	コア	1	重田孝夫
	組織行動学（宮迫）※3	コア	1	宮迫純
	Organizational Behavior（宮迫）	コア	1	宮迫純
	経営組織論概説	コア	1	松木知徳
	リーダーシップ特論IV（史記にみるリーダー論）	応用	1	竹内良雄
金融・財務	マクロ経済学	コア	2	高島修
	ファイナンス（宮内）※4	コア	2	宮内惇至
	ファイナンス（山岸）※4	コア	2	山岸洋一
	財務会計（柴崎）※5	コア	1	柴崎健
	財務会計（三光寺）※5	コア	1	三光寺由実子
	管理会計（小林）※6	コア	1	小林英幸
	管理会計（柴崎）※6	コア	1	柴崎健
	経済政策の理論と実際	コア	1	福田淳一
	金融インフラと情報技術～次世代・デジタル金融の展望	応用	1	中山靖司
資金調達実践	発展	1	太齋利幸	
経営数理・問題解決	統計学	コア	1	沖吉真実
	オペレーションズ・マネジメント（小林）※7	コア	2	小林英幸
	オペレーションズ・マネジメント（野間口）※7	コア	2	野間口隆郎
	ロジカルシンキング	コア	1	太齋利幸
	生成AIビジネス利活用概論	コア	1	重田孝夫・佐々木一人・沖吉真実
	問題解決技法	応用	2	太齋利幸
	データサイエンス	応用	1	沖吉真実
	ブロックチェーン技術の社会実装（基礎編）	応用	1	藤本守
	ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）	応用	1	藤本守
ビジネス・ミクロ経済学	発展	1	石川秀樹	
企業倫理・経営思想	コーポレート・ガバナンス	コア	2	上田亮子
	企業経営と会社法	コア	2	盧曉斐
	経営哲学	応用	1	十名直喜
	経営理念を活かす創造経営	発展	1	井手芳美
グローバル・ビジネス	世界経済と政策対応	コア	1	山崎達雄
	グローバル経営戦略	コア	1	吉田宣也
	地政学：激動する世界を読み解く	コア	1	蟹瀬誠一
	中国企業論	発展	1	細沼藹芳
	グローバル・ビジネスコミュニケーション	発展	2	マイケル・サンダークリフ
	グローバル・ビジネスライティング	発展	2	マイケル・サンダークリフ

※1・※2・※3・※4・※5・※6・※7の科目は、それぞれ同一科目のため、いずれか一方しか受講できません。

※1（マーケティング）・※3（組織行動学）・※5（財務会計）・※6（管理会計）の科目は、履修人数に大幅な偏りが発生した場合、選択されたクラス（教員）と異なるクラスに振り分けられる可能性がありますのでご了承ください。

2026年春学期スケジュール

春学期 前期開講科目							春学期 後期開講科目								
4月			5月				月	6月			7月				
15日	22日		6日	13日	20日	27日	日	10日	17日	24日	1日	8日	15日	22日	
1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	章	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	
松原恭司郎	サステナビリティ・マネジメント							MBAのためのケーススタディー							野間口隆郎
重田孝夫	組織行動学（重田）							孫子に学ぶ経営戦略							横山成人
宮迫純	組織行動学（宮迫）							管理会計（小林）							小林英幸
宮迫純	Organizational Behavior（宮迫）							管理会計（柴崎）							柴崎健
松木知徳	経営組織論概説							経済政策の理論と実際							福田淳一
竹内良雄	リーダーシップ特論Ⅳ（史記にみるリーダー像）							生成AIビジネス活用概論							重田孝夫・ 佐々木一人・沖吉真実
柴崎健	財務会計（柴崎）							資金調達実践							太齋利幸
三光寺由実子	財務会計（三光寺）							データサイエンス							沖吉真実
中山靖司	金融インフラと情報技術～次世代・デジタル金融の展望							ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）							藤本守
沖吉真実	統計学							経営哲学							十名直喜
太齋利幸	ロジカルシンキング							経営理念を活かす創造経営							井手芳美
藤本守	ブロックチェーン技術の社会実装（基礎編）							中国企業論							細沼藹芳
石川秀樹	ビジネス・ミクロ経済学														
山崎達雄	世界経済と政策対応														
吉田宣也	グローバル経営戦略														
蟹瀬誠一	地政学：激動する世界を読み解く														
佐々木一人	マーケティング（佐々木）							マーケティング（徐）							佐々木一人
徐恩之	マーケティング（徐）							事業戦略構築論（熊沢）－独立起業コース－							熊沢拓
熊沢拓	事業戦略構築論（熊沢）－独立起業コース－							事業戦略構築論（松木）－社内起業コース－							松木知徳
松木知徳	事業戦略構築論（松木）－社内起業コース－							マーケティング実践（ブランディング）							刈谷裕子
刈谷裕子	マーケティング実践（ブランディング）							マクロ経済学							高島修
高島修	マクロ経済学							ファイナンス（宮内）							宮内惇至
宮内惇至	ファイナンス（宮内）							ファイナンス（山岸）							山岸洋一
山岸洋一	ファイナンス（山岸）							オペレーションズ・マネジメント（小林）							小林英幸
小林英幸	オペレーションズ・マネジメント（小林）							オペレーションズ・マネジメント（野間口）							野間口隆郎
野間口隆郎	オペレーションズ・マネジメント（野間口）							問題解決技法							太齋利幸
太齋利幸	問題解決技法							コーポレート・ガバナンス							上田亮子
上田亮子	コーポレート・ガバナンス							企業経営と会社法							盧曉斐
盧曉斐	企業経営と会社法							グローバル・ビジネスコミュニケーション							マイケル・サダー・クリフ
マイケル・サダー・クリフ	グローバル・ビジネスコミュニケーション							グローバル・ビジネスライティング							マイケル・サダー・クリフ
マイケル・サダー・クリフ	グローバル・ビジネスライティング														
	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	章	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章
	15日	22日		6日	13日	20日	27日	日	10日	17日	24日	1日	8日	15日	22日
	4月			5月				月	6月			7月			
	春学期 通期開講科目								春学期 通期開講科目						

後期科目

MBAのためのケーススタディー

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	発展	1



野間口 隆郎
客員教授

<授業概要>

世界のグローバルスタンダードなMBAはケースメソッドによる学修によって、その実践的な知的スキルを磨いてはじめてMBAとしての自己の価値の証明ができます。現実のビジネスで直面する課題は、戦略、マーケティング、組織、オペレーション、ファイナンスの理論的な分野別に区分されていることはありません。それらを総合的に使いこなして解決策を導きだします。そのための知的スキルをケースメソッドによる学修で磨いていきます。それは学修というよりは訓練に近いと言えるでしょう。

孫子に学ぶ経営戦略

科目区分	レベル	単位数
戦略・マーケティング	発展	1



横山 成人
講師

<授業概要>

世界最古で最高の戦略書と評される「孫子の兵法」は、これまで多くの歴史上の偉人が学び活かしてきました。現代においても、軍事専門家だけでなく、経営者をはじめ多くの人が学び、仕事に、経営に、人生に活かしています。「孫子」には、大きく分けて「現行孫子」と「竹簡孫子」の2種類が存在しますが、この授業では、1972年に発見され、著書の孫武の思想が色濃く残っている「竹簡孫子」を取り扱います。

進め方としては、「孫子の兵法」が目指す勝利の形や戦い方といった大枠を理解してから、戦略・戦術における哲学テーマを顕らかにし、各篇の内容である細部を掘り下げていきます。歴史上の戦争・政治や松下幸之助などの哲人経営者、スポーツ等を事例として紹介します。

最終的には、全体像や各篇のつながりを理解し、物事を長期的・多角的・本質的に捉える東洋的な視点で戦略を考えられる能力を身につけることができるようになります。

管理会計（小林）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1



小林 英幸
教授

<授業概要>

この授業では、管理会計が企業の内部に提供する情報と、企業で働く人々に与える影響に着眼して、管理会計システムの設計や、その運用のあるべき姿を考えていきます。

管理会計の元々の目的は、会計データを初めとして、企業の経営に役立つデータを、企業の内部に提供することです。つまり「情報システム」としての役割です。企業の現場に存在するのは会計データだけでは勿論ありません。仕事の質を高めるための仕組みや、働く人たちの心理・感情というものも、企業の経営に影響を及ぼすものです。

この授業では、会計データを中心とした情報システムとしての役割と、それらが企業で働く人々に与える影響、すなわち「影響システム」としての役割に着眼して進めていきます。影響システムとしては特に、人は測定されることによって行動を変えるものだという点に注目して、その理由や適切な対処方法などを掘り下げていくことにします。

管理会計（柴崎）

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1



柴崎 健
教授

<授業概要>

この授業では、管理会計が企業の内部に提供する情報と、企業で働く人々に与える影響に着眼して、管理会計システムの設計や、その運用のあるべき姿を考えていきます。

管理会計の元々の目的は、会計データを初めとして、企業の経営に役立つデータを、企業の内部に提供することです。つまり「情報システム」としての役割です。企業の現場に存在するのは会計データだけでは勿論ありません。仕事の質を高めるための仕組みや、働く人たちの心理・感情というものも、企業の経営に影響を及ぼすものです。

この授業では、会計データを中心とした情報システムとしての役割と、それらが企業で働く人々に与える影響、すなわち「影響システム」としての役割に着眼して進めていきます。影響システムとしては特に、人は測定されることによって行動を変えるものだという点に注目して、その理由や適切な対処方法などを掘り下げていくことにします。

なお、本講座は、対面授業はありません。

※2026年春学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

後期科目

経済政策の理論と実際

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	コア	1



福田 淳一
客員教授

<授業概要>

経済政策の理論と実際を学ぶ。まず、マクロ経済の見方を学修し、何が重要かを考察する。次に、財政政策、金融政策をはじめとする各般の経済政策について、その基本的な考え方を学び、それぞれの効果等を考察する。

資金調達実践

科目区分	レベル	単位数
金融・財務	発展	1



太齋 利幸
教授

<授業概要>

資金繰りとはどういうことか？また、必要性は？など資金繰りの基本的な知識を学び、それに必要な資金繰りと経営分析の関係について数値的な感覚を養う。次に、資金調達の方法として内部調達、外部調達に分けて具体的な調達方法を学ぶ中で、特に、金融機関からの借入と公的融資制度を重点に置き、助成金の活用やクラウドファンディングにも触れる。

生成AIビジネス利活用概論

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	コア	1



重田 孝夫
教授

<授業概要>

今日、生成AIのビジネスシーンでの利活用は、顧客・市場・社会への価値創造活動として必須要件になっています。一方で、今後の事業経営の成否を決定しかねない重要な鍵であるにもかかわらず、日々進化を遂げる生成AIにどのように向き合い、認識し、どのように利活用を図って事業活動を推進して行くべきかについては、まだまだ手探り状況にあるのも事実です。

本講義は、進化し続ける生成AIのビジネスシーンでの利活用にフォーカスし、生成AIがもたらす変化や動向を踏まえながら、ビジネス利活用における本質的意義は何か。また、ユニコーン企業、ゼブラ企業、ガゼル企業等、それぞれの企業体において、アントレプレナー・イントレプレナーとして身につけておくべき基本要件である生成AIの実務における利活用能力に関して、「役立つ、使う・使える」をキーワードに、その習得を目指します。

データサイエンス

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1



沖吉 真実
講師

<授業概要>

本講義では、Pythonを利用したデータ解析手法を学び、あらゆるビジネスシーンでデータを活用する力を養います。本講義ではChat GPTを利用して、プログラミングへ応用することで、プログラミングを苦手とする方でもより簡単にデータを扱うことができることを目的としています。データ解析の一連の流れ（手順）を理解し、実際にPythonを実装させ、Try and Error を繰り返すことで、実践的なスキルの向上を目指します。

※2026年春学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

後期科目

ブロックチェーン技術の社会実装（応用編）

科目区分	レベル	単位数
経営数理・問題解決	応用	1



藤本 守
客員教授

<授業概要>

ブロックチェーン技術は金融サービス領域のみならず、産業分野においても大きな変化をもたらす可能性を持った技術です。これまでは暗号資産への応用が最も進展し社会的にも認知されていますが、それ以外の様々な分野への応用が進んでいます。ブロックチェーンブームに乗って多くのプロジェクトが生まれた一方で、社会実装の手前で足踏みをしている事例、社会実装まで進んだものの継続出来なかった事例も多く見られます。それは暗号資産の分野においても同様です。ブロックチェーン技術の社会実装は発展途上であり、これが正解というセオリーがあるわけではありません。本講義ではブロックチェーン技術の社会実装はどのように進められているのか、応用分野ごとに事例を用いながら解説します。なお、本講義ではブロックチェーン技術に関する専門用語等が多く出て来ますので「ブロックチェーン技術の社会実装（基礎編）」を受講されていることが望ましいです。

中国企業論

科目区分	レベル	単位数
グローバル・ビジネス	応用	1



細沼 諒芳
教授

<授業概要>

路遥知馬力、日久見人心（道が遠いほど馬の力が分かり、日時が経つほど人の心が見える）」という古い諺が中国にはあります。中国人はビジネスに際し、他人に対しては敵対的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとしています。中国ビジネス成功の鍵は、中国社会でうまくネットワークを築くことであると言われていいます。本講義は、中国ビジネスに関心のある授業者あるいは将来中国でビジネスを行いたい授業者を対象としています。中国企業の全体像や特徴を知り、中国のパートナーと理解し合いながらネットワークを築くために中国企業の特徴を詳しく講義します。本授業はまず、中国地域、消費市場の特徴などについて講義します。次に、国有企業、民間企業、新興企業、マネジメントの特徴などについて講義します。最後に、中国企業の実態についてケーススタディを行います。

※2026年春学期シラバスに基づいて作成しているため、記載内容に変更が生じる可能性があります。

後期科目

経営哲学	科目区分 企業倫理・経営思想	レベル 応用	単位数 1
------	-------------------	-----------	----------



十名 直喜
客員教授

<授業概要>

日本企業にみる国際的プレゼンスの低下傾向は、顕著なものがあります。経営と技術の閉塞を打破するイノベーションでは後塵を押し、品質不祥事や過労死なども後を絶ちません。メイド・イン・ジャパンは高品質・高信頼性ブランドとみなされ、日本企業の代名詞となってきました。それを根底から揺り動かしているのが、日本の大企業に相次ぐ品質不祥事であり、過労死やブラック企業などの労働不祥事です。

経営とは何か、品質とは何か、働くとは何かが、根底から問われています。経営とは、人間が目的に向かって協働して行う営みであり、目的達成の技術と理念の総体とみることができます。その経営概念を一番有効に使ったのが企業ですが、その偏向と逸脱が種々の問題を引き起こしています。

日本的経営の根幹をなした品質と働き方の「好循環」とは何であったのか、なぜどのように「悪循環」に転じたのか。国際的劣位が目立つ「学び直しの意欲と活動」を反転させる方策は何か。技術と文化のイノベーションを促す経営・働き方とは何か。再生に向けて、日本資本主義の精神、経営・仕事の本質と原点に立ち返り、今日的な位置と意味を捉え直すことが求められています。

その重要な手がかりとなり、導きの糸となるのが、経営哲学です。経営哲学は、経営を「哲学」する、すなわち根源的に問い論理的に捉え直すことであり、そこで得られた仮説的命題の理論的体系です。

経営哲学は、限りなく深いものがありますが、その本義は、経営の意味やあり方を現実に立脚しつつ根底から探求することにあります。そのような視点からみると、経営哲学は、①経営者論、②経営（者）哲学、③経営理念の3層構造として捉えることができます。②経営（者）哲学は、①経営者論/③経営理念とも深く関わり、橋渡しの役割も担っており、「狭義の経営哲学」とみることができます。一方、3層のダイナミックかつシステム的な関係に注目するのが「広義の経営哲学」です。

本講座は、（広義&狭義の）経営哲学の視点から、日本資本主義の原点に立ち返り、日本経営の本質と歴史をグローバルに捉え直します。さらに、品質と働き方、生き方の視点をふまえ、経営のあり方と未来を展望します。

後期科目

経営理念を活かす創造経営

科目区分	レベル	単位数
企業倫理・経営思想	発展	1



井手 芳美
講師

<授業概要>

企業・個人を取り巻く環境が大きく変化する中で、改めて、企業のあり方、個人のあり方の本質が問われています。こうした変化の中で企業は、企業理念や存在意義まで立ち戻り、持続的企業価値の向上に向け、人材戦略を変化させる必要性が求められています。

企業の目的とは何か。それは、企業における特有のミッションを果たし社会へ貢献することであると考えます。経営理念は、経営の核心の明文化に他なりません。

経営理念とは、「会社の存在意義、目的、価値観、事業遂行の方向性、行動基準を示すもの」です。いわば経営の土台をなすものです。つまり、「会社としてあるべき姿を明らかにし、明文化等を通して社会や人々に働き生きる知恵と指針を指し示す羅針盤」であり、「立ち返るべき原点」である、と定義することができます。

経営理念は、大きな障害や経営危機に遭遇した時に、原点に立ち返る羅針盤となりますが、それだけではありません。むしろ、日々仕事に向き合う座標軸となり、反省と啓蒙を促す哲学として活かすことが大切です。それによって、人的資源の質や求心力を高め、企業のイノベーションや発展を促す触媒となり孵化器にもなるでしょう。

経営資源において最大の潜在能力を持つのは人です。経営理念は、組織の中で多様な文化や価値観を有した人材を最大限活かす価値共有の土台となるものです。

まさに、経営理念を軸に、多様な人材を活かし、地域社会と共存を図りつつ、創意的な経営戦略や人材戦略を図ること、それが、創造経営といえるでしょう。これは、国内の経営にとどまらず、グローバル展開する企業の経営においても示唆を与えてくれるものと信じてやみません。

一方で、働きがいを感じる社員の割合は、世界平均が66%の中で、日本は56%であり、これは先進国の中で、最下位であります。なぜ、このような結果となっているのでしょうか。様々な要因はありますが、1つは、自らの働きが何に役立ち、何のために働いているかが見えない、すなわち、自己実現、自己成長が見出せないことにあると考えます。経営者は、人材一人ひとりと向き合い、最大限にその人材の持つ能力を活かしてきたのでしょうか。

人間らしい働き方、人を生かす経営のあり方が、根底から問われています。

本講義は、経営理念の意義を考えつつ、経営理念を明文化、具現化してきた歴史上の経営者のあり方、考え方（哲学）にフォーカスします。また、人材戦略のアプローチから経営者は、どのような姿勢（哲学）で社員一人ひとりと、どのように向き合うべきかを考察します。考察する上では、コミュニケーションやコーチングの視点も折り込みます。

自らが、あるべき経営の視点から創造的に経営を考えることで、生き方や働き方を問い直すきっかけとなり、内省が深まる授業を目指します。

システム要件

■ハードウェア要件

- ・CPU：4コア2.5Ghz以上
- ・メモリ：16GB以上を推奨
- ・ハードディスク：

【WindowsPCの場合】

- ・Teamsアプリのインストール時：3GB の使用可能なディスク領域が必要です。
- ・Microsoft365のインストール時：4GB の使用可能なディスク領域が必要です。

【Mac PCの場合】

- ・Teamsアプリのインストール時：1.5 GB の使用可能なディスク領域が必要です。
- ・Microsoft365のインストール時：10 GB の使用可能なディスク領域が必要です。

■ソフトウェア要件

【WindowsPCの場合】

- ・OS：Windows11 [64ビット版]
- ・Webブラウザ：Microsoft Edge、Google Chrome
- ・その他：Adobe Acrobat Reader（最新版）

【MAC PCの場合】

- ・OS：macOS v15.7 Sequoia、macOS v14.3.1 Sonoma、macOS v13.5.1 Ventura
- ・Webブラウザ：Safari、Google Chrome
- ・その他：Adobe Acrobat Reader（最新版）

※Chrome OS (Chromebook) には対応していません。

■モバイル端末でのご受講

- ・OS：iOS 26、18、17、iPadOS 18、17、Android 16、15、14、13
- ・Webブラウザ：
iOSをご利用の場合：Safari
Androidをご利用の場合：Google Chrome（標準搭載）

※iPad mini及びiPadProは動作保証対象外です。

■ネットワーク要件

- ・下り:2Mbps以上のインターネット接続
- ・上り:256kbps以上のインターネット接続

※スマートフォンの場合はLTE/4G以上、WiFi環境を推奨

【Web会議システムで授業に参加される場合】

- ・下り:1.8Mbps以上のインターネット接続
- ・上り:2.6Mbps以上のインターネット接続

システム要件

■USBカメラ、ヘッドセット要件

【Web会議システムで授業に参加される場合】

- ・USB2.0WebカメラまたはPC内蔵のWebカメラ
- ・ヘッドセットまたはヘッドフォン・イヤフォン及びマイク

※ 上記パソコンのハードウェア、ソフトウェア要件に適合するもの

■その他

- ・大学事務局との連絡の為、メールを送受信できる環境が必要です。
- ・レポート課題等への対応のためMicrosoft Excel、Microsoft Word、Microsoft PowerPointが必要です。
(在学中に限り、大学から提供されたライセンスでご利用いただけます。)

2026年3月現在（変更となる場合もございます。）

■注意事項

- ・ブラウザのJavaScript、Cookie、SSL(TLS)の設定が有効である必要があります。
- ・セキュリティソフトウェアまたは、アンチウイルスソフトウェアのセキュリティ機能によって当サービスの機能が正しく利用出来ない場合があります。
- ・海外でご利用の場合は、国毎のネットワーク通信やインフラ事情により受講ができない場合がございます。事前にご確認のうえご利用ください。
- ・本サービスは、Web通信が可能な環境でご利用になれますが、社内LANのファイヤーウォールやプロキシサーバーなどにより通信制限されている場合は、本学コンテンツを正常にご受講いただけない場合がございます。この場合は、本サービスで利用しているプラットフォーム（学習管理システムサーバーおよび映像配信サーバー）についてホワイトリストに追加するなど、ネットワーク管理者様とご調整いただく必要があります。

試聴試験用の動画をSBI大学院大学Webサイトにて公開しております。

» 試聴試験用の動画



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

Memo

Memo

お問い合わせ

SBI大学院大学事務局 平日9:00～18:00

〒106-6021

東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー21階

電話 : 03-6229-1175 FAX : 03-6685-6100

Email : admin@sbi-u.ac.jp

» SBI大学院大学WEBサイト
<https://www.sbi-u.ac.jp/>



SBI Graduate School